

# 町行政の現状と展望

人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり

くまがしmobいによるこども園のキッズアフタースクールの送迎



令和8年1月



奈良県平群町

デジタル版  
はこちら



平素は町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本冊子は、町が取り組んでいる主な事業内容と財政等の今後の展望を住民の皆さまにお伝えすることで、住民協働のまちづくりを推進していくことを目的として毎年全戸配布させていただいております。

町の現状を知っていただくために、是非ご一読賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町は令和5年度からの今後10年間のまちづくりの指針となる「平群町第6次総合計画」と人口減少対策や地方創生を目的とした「平群町デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に策定し、人口減少の緩和や持続可能な発展に向けて取り組んでいます。

人口の減少が続く中、これまで「幼保一体型認定こども園の開設」や「子ども医療費助成範囲の拡大」をはじめとする子育て支援策にいち早く取り組み、「結婚新生活支援補助金事業」等の移住・定住促進施策にも力を入れてまいりました。

その結果、ここ数年間は30～50代の社会増加が続いており、この状況を更に加速させるため、SNSを活用した情報発信やイベントの開催、子育て世帯の定住を図るPR動画の作成等のシティプロモーションを引き続き行ってまいります。

財政状況においては、依然として奈良県から「重症警報」が発令されておりますが、「財産の処分・活用」や「業務の見直し」、「総人件費の抑制」といった取り組みにより、財政の健全化を示す経常収支比率等の値は着実に改善しつつあります。

しかしながら、各学校体育館の空調整備、中学校長寿命化改修事業、役場庁舎建設事業などの整備事業等が控え、財政状況は更に厳しくなると見込んでおり、これまで以上に気を引き締めて行政運営に取り組んでまいります。

平群町は、令和8年2月に町制施行55周年を迎えます。様々な課題を抱えながらも一つひとつ対処し、次世代へと繋がる持続可能なまちになるために、これからも町政の運営に対して、変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年1月

西脇洋貴

平群北公園



## 序章 平群町の人口について

### 第1章 住みたい・住み続けたいまちづくり

- 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり . . . . . p4
- 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり . . . . . p6
- 1-3 魅力つたわる情報発信 . . . . . p7
- 1-4 持続的で安定した農業経営 . . . . . p9
- 1-5 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり . . . . . p9

### 第2章 住民の暮らしを支えるまちづくり

- 2-1 災害に強いまちづくり . . . . . p11
- 2-2 生活を支える公共交通 . . . . . p11
- 2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり . . . p12
- 2-4 生きがいを作り出す生涯学習と文化活動 . . . . . p12
- 2-5 環境への負荷の少ないまちづくり . . . . . p14
- 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり . . . . . p15



# 平群町の人口について

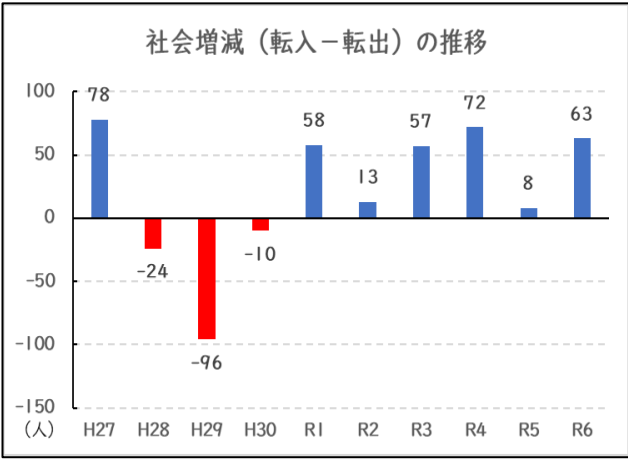
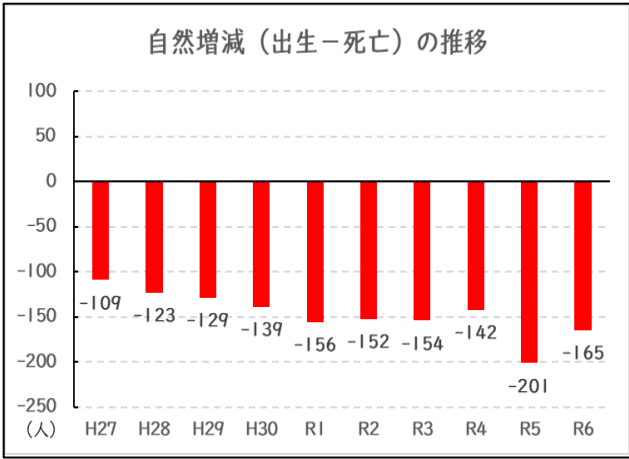
奈良県推計人口に基づく平群町の人口は令和6年は17,547人と、10年前の平成26年と比較すると1,265人の減少となっております。

出生数から死亡数を引いた値である「自然増減」については、令和6年は165人減と未だ自然減ではあるものの、減少数は少し緩やかになりました。

一方で、転入数から転出数を引いた値である「社会増減」については、特に令和元年以降は、社会増加が続いており、令和6年は63人の転入超過となりました。

また、平成30年～令和4年の合計特殊出生率は1.22となっており、前回数値の1.15から0.07ポイント増加し県内2位の増加となっています。

人口減少を少しでも緩やかにするため、特に若い世代を対象とした社会増加を目指すとともに、これからも望む人が結婚から妊娠、出産、子育てをしやすいまちづくりを進めてまいります。



出典：奈良県推計人口調査

## 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

### 子育てを応援する主な支援策

	主な支援策	概要	備考
1	結婚新生活支援 ＜新婚生活を応援＞	結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用（住宅の購入費、リフォーム費、引越費、家賃等の全部または一部）を条件を満たした方に支給。	最大30万円 ※夫婦共39歳以下、合計所得500万円未満等の条件あり
2	妊婦のための支援 給付金（1回目）	新たに妊娠の届出をし、面談を受けた妊婦に対し支給。（妊娠届時に申請書類）	5万円
3	妊婦のための支援 給付金（2回目）	出生届後に家庭訪問を受けた産婦に対し支給。（町保健師訪問時に胎児数の届出書）	5万円／子（胎児）1人
4	産婦健康診査助成	出産後の産婦への支援の充実を図るため、産婦健康診査の費用の一部を助成。	上限5,000円/2回まで
5	子ども/ひとり親/ 心身障害者医療費助成	高校生世代まで県内医療機関等での窓口負担無し。医療費自己負担額(保険診療分)全額を助成。	医療費の無償化
6	移住支援 ＜Uターン大歓迎＞	奈良県内企業等の人材不足の解消及び平群町への移住・定住を図るため、東京圏から移住し、就業等の条件を満たした方に支給。	最大100万円 ※移住や就労等に関する要件あり

# 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

## 日常生活の全てを町内で完結できる町に

町内には、内科・歯科・小児科等、数多くの医療機関があり、困った時に通える環境が整っています。

また、主要幹線である国道168号沿いには、ドラッグストアやスーパー等の商業施設など、多様なニーズに合わせた店舗が続々と開店しています。

日常生活の全てを町内で完結でき、平群町に住む大きな魅力の一つとなっています。



## 公民連携し、子育て支援事業を拡充

令和8年4月に平群北幼稚園（緑ヶ丘1丁目）が新たに認定こども園として開園します。町立こども園2園、私立こども園2園の合計4園で多様な子育てニーズに対応しています。



### 平群北幼稚園

#### 【定員】

○1号認定	54名
○2・3号認定	52名

#### 【保育時間】

短時間	8:00～16:00
標準時間	7:30～18:30
1号認定時間	10:00～14:30

### ■学童保育運営を委託しました

学童保育運営の充実や指導員の安定確保を目指し、令和7年4月から学童保育運営業務を民間事業者へ委託しました。

長期休暇中の注文によるお弁当の提供や、ICTを活用した連絡ツールの導入など、利便性向上に向けた取り組みを行っています。



学童保育でのお弁当提供の様子

## 子育て世帯に人気の子育て支援センターの取り組み

### ■親子参加の子育てイベントを通じた交流

お誕生日会・おもちゃ病院・おでかけ広場・あつまれ0歳！等、親子で参加できるイベントを各種開催しています。また、子育てサークルへの場所の提供もしており、町内在住の親子が育児情報の交換等ができる環境づくりに取り組んでいます。

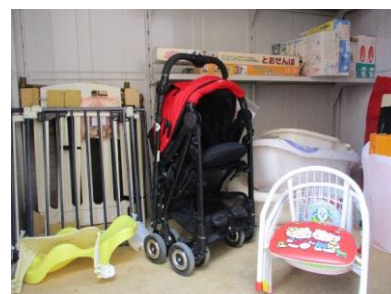


### ■ママだけでなく、パパ向けの子育て講座も開催

1歳未満の子を持つ両親を対象とした「Let's Enjoy パパ！」や子どもと関わりがある方向けの講座「子育てってそれっていいんだよ」等を定期的で開催し、家族みんなで子育てする機運の醸成を図っています。

### ■育児グッズの“無料”貸出

子ども服のリサイクル、絵本・育児雑誌・リサイクル育児用品の貸出等を行っています。ベビーベッド・ベビーバス等、一時的に使用する育児グッズ等もあり、多くの方にご利用いただいています。



# 1-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

## 役目を終えた家は『空き家バンク制度』で次の世代へ

### ■空き家は適正な管理が必要です。

町内の空き家は541件（令和7年10月末時点）確認しています。

空き家の管理は所有者等（所有者または管理者）の責務であり、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないようにしなければなりません。

空き家の適正な管理を怠ると、建物の老朽化による屋根・外壁の飛散や倒壊の危険性、不法侵入や放火の恐れ等、安全、衛生、防犯、景観の面から様々な問題が発生します。

また、他人に損害を与えた場合は、所有者等が損害賠償等の管理責任を問われることがあります。

### ■不適正管理の空き家への情報提供をお願いします！

ご近所や自治会で所有者等の連絡先がわからない、不適正管理の空き家への情報提供があった場合、町で所有者等の調査を実施し、所有者等に適正管理を促しています。

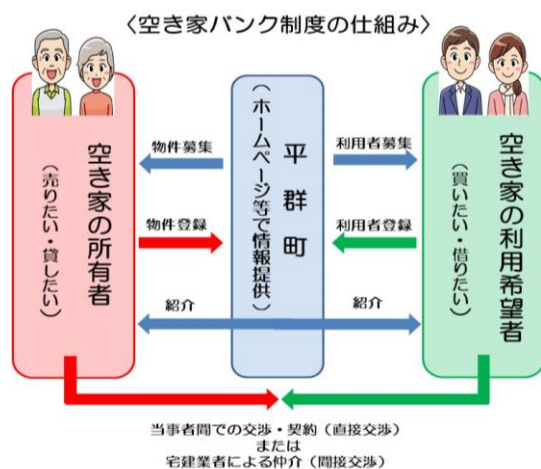
### ■空き家バンクへの登録をすすめています。

「空き家バンク」とは、町内の空き家を「売る」「貸す」ことを希望している所有者から、空き家バンクへの登録申込を受けて、その空き家の写真や間取りを町のホームページ等で公開し、お住まいをお探しの方に情報提供するサービスです。どうぞお気軽にご相談ください。

空き家の利用希望者に対して  
**登録物件が不足しています!!**

＜空き家活用状況＞（R7.10.30現在）

	計
空き家登録数	15
利用希望者数	189
成約数（R7.4～10）	7



空き家バンクへの登録方法等、  
詳細はホームページをご覧ください。

# 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり

ALT（外国語指導助手）を町立こども園及び小中学校に配置し、幼少期からネイティブスピーカーの発音や英語教育に触れることで、国際感覚を身につけ、学ぶ意欲を育てています。



## 子どもたちの健やかな成長のために

ライフスポーツ財団「子ども活動支援金」を活用して、町立こども園の3歳児（年少）へのダンス指導やマット・鉄棒等様々な運動遊びを実施し、あらゆる運動やスポーツにも、意欲を持って取り組める力を育てています。

また、はなさとこども園の園庭に新たな遊具の設置を行いました。



運動遊びの様子



# 1-2 未来を担う子どもたちを育てるまちづくり

## 快適で安全な学校生活の整備

### ■小・中学校体育館空調設置等工事に係る実施設計業務の完了

小・中学校体育館の空調設置工事実施に向けた設計業務が完了しました。平群小学校、平群北小学校は令和8年7月末、平群南小学校、平群中学校は令和9年2月末を目途に工事完了へ向け、準備を進めています。

空調設備の新設と併せて照明器具のLED化や体育館の断熱性を高めるための工事を併せて実施し、より快適な学習環境の整備を行います。

### ■平群中学校に楽器を購入しました

ふるさと基金を活用し、吹奏楽部に金管楽器の「ホルン」、授業用に「クラシックギター」を購入しました。



「ホルン」と「クラシックギター」

### ■保育・教育施設の主な整備状況

平群小学校と平群北小学校は、老朽化した遊具の更新、平群南小学校では、校舎屋上防水工事を行いました。

## 時代の流れに沿った教育を子どもたちに

### ■へぐりこどもサミット HEGURIをここからうごかそう！

～へぐり時代まつり実行委員の先輩に学び、  
町の未来について話し合おう！～

へぐり時代まつり実行委員の先輩から話を聞いて、町の良さに改めて気付いたり、自分たちの思いをどうしたら効果的に伝えられるかを考えたりすることで、自分たちが社会や地域の担い手であるという意識を高めることができました。



へぐりこどもサミット

# 1-3 魅力つたわる情報発信

## 町の取り組み等を多くの方に伝えるために

### ■親しみのある「広報紙」作り

令和7年度は、「平群のぶどう」「子ども食堂・地域食堂」「空き家の有効活用」などの特集記事を掲載しました。また、町のシティプロモーションの取組についても掲載しています。

広報紙は、公式LINE「広報紙カラー版」でもご覧いただけます。



## デジタル社会に対応する「へぐり」のまちに

### ■公式SNSで町事業を随時発信

SNS (LINE, X, Facebook, Instagram) を活用し、広く知っていただきたい行事やイベント情報を発信しています。ぜひ、友だち追加、フォローをお願いします。

また、LINEから行政手続きを行えるサービスを推進していますのでご活用ください。

SNSアカウントはこちら



LINE



X



Facebook



Instagram

# 1-3 魅力つたわる情報発信

## 皆さんの思いを町政に反映するために

### ■町政へのご意見・回答をホームページに公表

住民の皆さまからいただいた町政への主なご意見・町からの回答について、町のホームページ上で公表しています。今後も、住民の皆さまに広く知っていただくべきご意見等に関しては、公表していきます。



主なご意見と回答

### ■行政出前講座をご活用ください

住民の皆さまに行政の取り組みについて説明する機会、また意見交換の貴重な機会として出前講座を実施しています。「防災」や「福祉」等ご興味のあるテーマを指定いただければ、町職員が皆さまのもとに出向いて町の取り組み内容等をご説明します。



行政出前講座ご案内

#### ◆主なテーマ例

防災（自主防災組織）・環境問題（ごみ・キエーロ）・医療制度・税制度・健康づくり・福祉・文化財・都市計画

※テーマ以外にもご要望に応じた講座のご相談を受け付けています。

#### ＜実施実績＞R7.11.30現在

	R7実施件数
行政出前講座（自治会向け・各種団体向け）や町からキエーロや地域防災組織等に関する説明会	13

## 町の魅力を伝えるシティプロモーション活動

### ■TikTokを活用したPR動画の制作

結婚・子育て世代をターゲットとして、子育てに適した環境など本町の魅力（町のパワースポットやおすすめスポット、平群花火大会など）をPRするショートムービーを制作・発信することで、「平群町で結婚し、子育てしたい」と考える若者層の増加と交流人口の拡大を図ることを目的としています。



TikTok



### ■公共交通機関で広告掲載（ポスター、デジタルサイネージ）

近鉄電車主要駅での広告掲載（結婚新生活支援事業）や町の魅力をPRする広告掲載を奈良交通バスで実施する等、町内外の子育て世帯に対してPRを行っています。

## 平群ファンを増やすために

### ■フォトコンテスト

「#へぐりフォトコン3rd」を実施しています。平群町の魅力の発信と愛着の醸成を目的に“好きなへぐり”“とっておきのへぐり”など「私のお気に入り in へぐり」をテーマに写真を募集しています。皆さまの応募をお待ちしています。

※応募期間（令和7年10月1日～令和8年1月31日）



応募詳細



### ■大阪・関西万博で展示

奈良県催事として、4月19日～22日に「関西パビリオン」にてへぐり時代祭りのPRとして甲冑体験を、9月16日～17日に「Dialogue Theater いのちのあかし」にて平群町を代表する小菊、イチゴ、バラやぶどうなどの農産物や信貴山、千光寺などの代表的な寺院のパネル展示を行いました。

また、平群町はデジタルトラベルゾーンプロジェクトに参加し、観光スポット（信貴山朝護孫子寺・千光寺・椿井城跡）のVR映像をルーム型LEDビジョンとVRゴーグルにより来場者に体験していただきました。





# 1-4 持続的で安定した農業経営

## ■「平群町農業振興ビジョン」を策定

平群町の基幹産業である農業において、農業者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害など、平群町農業振興の課題対策と持続可能な農業の構築を目的として、中長期的に実現可能な方針を示すため、「平群町農業振興ビジョン」の策定を進めています。令和7年度は、平群町農業振興ビジョン策定のための事前準備として、各関係者との調整や必要なアンケート、その他計画策定に必要なデータの収集を行い、令和8年度の平群町農業振興ビジョンの策定を目指しています。

## ■特定農業振興ゾーン（上庄・梨本地区）

奈良県事業として、農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために平群町の上庄・梨本地区が特定農業振興ゾーンとして、指定されました。このエリアでは、最新の設備を備えたイチゴ栽培ビニールハウスの導入や、農地の有効活用を目的として農地整備をはじめ農道や農業水路など農業施設の整備を奈良県が主体となり、平群町、地域の農業者や地権者が協力して進められています。



# 1-5 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光まちづくり

## ■平群小菊看板リニューアル

近年、国道168号バイパスには新たな商業施設が出店し、町のメイン街道として賑わいを創出しています。その国道沿いに位置し、ランドマーク的な存在である「平群の小菊」看板をリニューアルしました。町の誇りである「夏秋期生産量日本一の小菊」をモチーフに、明るくひらかれた未来へと発展し続ける町の姿を表現することをコンセプトにデザインを一新しました。



## ■観光スポットを巡る「シェアサイクル」の実証実験スタート

民間事業者と協力し、エリア内の観光スポットをめぐる新たな移動手段の1つとして「シェアサイクル」の実証実験を始めました。WEST NARA 広域観光推進協議会において生駒郡・北葛城郡のエリアにサイクルステーションの設置を進め、周遊促進につなげていきます。



## ふるさと納税～町外から想いの詰まった寄附金を募集しています～

「平群町を応援したい」という想いの詰まった寄附金を全国の皆さまからいただくために、ふるさと納税の募集に力を入れており、令和6年度は過去最高のふるさと納税寄附額となりました。

しかしながら、町外への寄附額は平群町への寄附額を上回っています。

## ■返礼品ランキングベスト3（令和6年度実績）

- 1位は県内トップの栽培面積を誇る「古都華」
- 2位は無農薬・無肥料の玄米を寝かせた「酵素玄米」
- 3位は様々な品種を揃えた「ぶどう」が選ばれました。

※定期便を除く

## ■寄附金の使い道

寄せられた寄附金は、小中学校・こども園等の遊具の改修等の子育て・教育関連や、平群ブランドを活用したメニューの開発等、魅力溢れる平群町のまちづくりに活用いたします。

皆さまの応援をお願いします。

＜令和6年度ふるさと納税寄附件数・金額＞  
単位：万円

寄附先	区分	件数	寄附額
平群町	企業版	3	310
	個人版	3,805	6,485
町外	個人版	1,438	11,713



返礼品ランキング1位「古都華」

## 道の駅大和路へぐり くまがしステーションの取り組み

### ■道の駅の登録・開業25周年、遂に過去最高の賑わいと経済効果

国、県が推し進める「道の駅を地方創生、観光の加速拠点に、そして世界ブランドに!」に呼応し、ブランド力の高い平群の地域資源を活用して、未来へ継承、発展を目指し、官民連携、協働で農業と観光振興を推進しました。

平成11年8月に「道の駅」登録後25年目にして、令和6年度決算で遂に道の駅創業以来過去最高の6億2千万円の売上額を達成し、年間来訪者は50万人以上になりました。コロナ禍前の売上額の約1.5倍になり、地域経済への波及効果が大きく広がり、平群の農業、観光振興の拠点になっています。



全景と賑わいのようす

### ■「古都華の聖地・平群」は、県内外から注目され、

#### 古都華加工品も人気抜群!

平群産農産物を中心に「とれたて市」の産地直売、県内産ブランド商品、へぐりブランドスイーツ等は、「道の駅大和路へぐり未来プロジェクト」により着実に推進しました。マスコミの年間取扱実績数は、100件以上あり、とりわけ、「まほろば古都華ジャム」は、日本農業新聞の「一村逸品」に取り上げられ、新聞やネットで全国紹介されました。ジャムの売上額は、年間5,000個以上の実績があり、古都華関連商品を中心に売り上げは飛躍的に伸びています。

また、令和7年2月の第2回「ならファミリー奈良県道の駅フェア」では、古都華関連商品の販売、平群町ふるさと納税のPR、平群町観光のアピール等を行いました。

これらの様々な地域振興活動は、平群町内外の事業者刺激を与え注目を得て、多様な店舗での古都華スイーツ開発、展開に繋がり効果を高めています。



まほろば古都華ジャム



ならファミリー第2回奈良県道の駅フェア

### ■愛と賑わいのあるふれあい広場を中心に道の駅マルシェを実施

平群町の四季折々の自然の魅力を味わえる憩いの場である「ふれあい広場」。観光振興や地域ぐるみのまちづくりを推進するため、令和7年1月から本格的に年間を通して土日祝の休日に「道の駅マルシェ」を実施し、県内外からの来訪者を温かく迎えています。

### ■観光ボランティアガイドによる観光振興

毎週土・日曜日、祝日は観光ボランティアガイドが道の駅に常駐して、観光スポット案内を実施し、観光振興に大きく貢献しています。

### ■道の駅大和路へぐり四季フェスタの開催

幅広い層の集客と賑わいを創出するため、四季フェスタを実施しました。

秋・冬フェスタでは、道の駅登録・開業25周年記念謝恩大抽選会を実施するとともに、道の駅重点マルシェで多くの皆様と交流し、平群及び県内の魅力を発信しました。



ふれあい広場の賑わい

2025冬・春「古都華フェア～古都華の聖地:平群～」	令和6年12月～令和7年4月
2025春・夏「へぐり美(うるは)しフェスタ」	4月26日(土)～6月30日(月)
2025夏・秋「へぐり俚(さと)びフェスタ」	7月5日(土)～10月31日(金)
2025秋・冬「平群ブランド収穫&フラワーフェスタ」	10月18日(土)～12月14日(日)
2025冬・2026春「古都華フェア ～古都華の聖地:平群～」	12月13日(土)～令和8年5月10日(日)



「平群ブランド収穫&フラワーフェスタ」



## 2-1 災害に強いまちづくり

### 日頃からの地震への備えを

#### ■役場新庁舎の建設の推進

防災拠点となる新庁舎建設に向けて新庁舎建設基本計画を策定します。

#### ■自主防災組織(結成29団体 結成率82.4%)

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である自主防災組織の結成を支援しています。また、防災研修会として行政出前講座を開催しています。

#### ■地域防災計画やハザードマップ更新、職員対応マニュアルの作成

土砂災害や地震を想定した地域防災計画と防災ハザードマップの周知徹底を行っています。令和8年全戸配布予定のハザードマップ更新を行っています。令和6年には「職務中における地震発生時の職員対応マニュアル」を作成しました。



地域防災計画

### 防災意識を高めるために

#### ■職員訓練「土のう作り訓練」を実施

今後発生しうる大雨等の災害に備え、職員の防災意識を高めるとともに、災害発生時には全職員が土のうを作り、かつ迅速に対応ができる事を目的として、「土のう作り訓練」を実施しました。職員の防災意識の向上と災害対策への意識を強め、災害に強いまちづくりへと取り組みを進めていきます。



#### ■管理職向け災害対応訓練

地震等の初動対応において、行政職員と自主防災組織の連携を強化し、各関係機関が連携することを目的とした管理職向け災害対応訓練を実施しました。この訓練は発災直後から72時間までの災害対応業務について時系列に沿って読み合わせを行う図上訓練となっています。有事の際に迅速に対応できるよう、今後もあらゆる事態を想定した訓練を実施し、町の防災力を高めていきます。



## 2-2 生活を支える公共交通

#### ■デマンド型乗合タクシー(高齢者の移動支援策)

いつまでも元気に生活ができる移動手段として令和3年10月より運行しています。(対象:65歳以上の方)

令和6年4月から町内全域および近畿大学奈良病院(往路のみ)への乗り入れが可能になりました。



#### ■くまがしmobi共創モデル実証運行事業

平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォームとして、一般社団法人くまがしクラブが実施主体となり、平群町と公共交通事業者【奈良交通グループエヌシーバス(株)】と共創で区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行を行っています。令和7年度は、中学生の学校部活動や小学生のジュニアアフタースクール、こども園のキッズアフタースクール、平群花火大会(9月13日開催)及び平群町スポーツフェスティバル2025(11月16日開催)等でのバス送迎を行いました。



「くまがしmobi出発式」



## 2-2 生活を支える公共交通

### ■コミュニティバス事業

①住民の健康維持 ②通学支援 ③観光支援(地域活性化)等を目的に、2ルート(西山間・南北循環)で運行しています。令和7年6月・11月には、地域住民への外出支援を目的に無料乗車を実施しました。



### ■エヌシーバス(株)路線バスの運行維持について

町内におけるバス利用者は年々減少し続け、路線バスの「平群住宅線」は年間赤字額が20,000千円を超え、現在運行している2路線「平群住宅線及び近畿大学奈良病院線」の継続が厳しい状況です。

町内のバスネットワークを今後も継続できるように、平群町からエヌシーバス(株)へ財政支援を行い、運行維持を行っています。今後もバス利用者の減少がさらに続くと、再編・廃止問題が生じてきます。お出かけの際は、路線バス等の公共交通機関のご利用のご協力をお願いします。

## 2-3 地域で支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり

### みんながいきいき暮らせる便利なまちづくり

#### ■マイナンバーカード作成サポート

窓口では写真撮影(無料)や各種サポートを行っています。なお、窓口に行かなくてもスマホでもオンライン申請が可能です。(注意:郵送で申請した場合は免許情報が引継がれませんので、マイナ免許証の方は必ずオンラインで申請してください)。また、偶数月の第1日曜日に「マイナンバー休日窓口(予約制)」を開設しています。

(令和7年10月末時点:平群町保有率80.6%)



#### ■戸籍謄本はどこの役所でも！住民票等はコンビニで！

本籍地以外の役所でも戸籍謄本が取得できます(直系親族に限る、写真付身分証の提示要、本籍地を正しく記入できること)。また、マイナンバーカードがあれば、住民票・印鑑証明・税証明が全国のコンビニで取得できます。(暗証番号要。印鑑証明は印鑑登録済であること)

#### ■がん患者の補整具の購入費用の助成

がん患者の皆さんの治療に伴う心理的・経済的負担をやわらげるとともに、社会参加を応援し、療養生活の質が向上することを目的とし、ウィッグ及び乳房補整具の購入費用の一部を助成します。

## 2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動

### 子どもから大人までが楽しめる様々な取り組み

#### ■平群駅前イルミネーション

平群駅前広場等のにぎわい創出のため、商工会の協力のもと駅前広場のイルミネーションを実施しています。

(令和7年12月6日から令和8年2月28日予定)



#### ■らんま先生による、eco 実験パフォーマンスや体験教室

令和4年度に引き続き、宝くじ助成を活用した公演会を実施します。講師のらんま先生は、日本で唯一の環境パフォーマー&科学実験のスペシャリスト(環境省認定)で親しみやすく、子どもたちが環境やSDGsについて考えるきっかけづくりに取り組んでいます。(令和8年1月25日開催予定)



## 2-4 生きがいを創り出す生涯学習と文化活動

### 子どもから大人までが楽しめる様々な取り組み

#### ■第14回へぐり時代祭り（4月29日）

新たに学生実行委員会を立ち上げ、町内の中学生・高校生8名が企画運営に参加してくれました。「時代を創れ！バトンは今、君の手に」をテーマに、時代行列では歴史人物に扮した人々が一斉にダンスを披露するパフォーマンスを行いました。ステージイベントや模擬店、歴史ウォークも開催し多くの来場者楽しんでいただくことができました。



へぐり時代祭り

#### ■オータムフェスタへぐり2025（11月1日～3日）

農業振興並びに芸術文化の振興を図るとともに、地域コミュニティの醸成を目指すことを目的に、収穫祭と文化祭を一体化した、「オータムフェスタへぐり2025-秋の収穫祭&文化祭」を開催しました。



演技発表



主産物共励品評会



展示部門

### 平群町総合文化センター ～住民のコミュニティの拠点～

会議室 ・ 研修室	定期的に文化・芸術活動等を行うクラブ、会議・健康体操・学習会・イベント等の控室等多目的に利用されており、文化交流の拠点となっています。また「自習スペース」として空いている部屋を無料開放しています。（対象：小学生以上）
展示スペース	町内のグループ・個人の作品や活動紹介、地域、文化財の情報等を展示しています。
くまがしホール	講演会や演奏会、ダンス発表会等、多くの団体が利用されています。
どんぐり広場	住民参加によるイベント(マルシェ等)が開催され、賑わいを創出しています。
図書館	利用者の知的支援の拠点として、まちの案内コーナーも併設し、地域の情報収集発信機能も備えています。子ども読書活動推進の一環として、本やおはなしに親しむため、「なつやすみとしょかんひろば」開催しました。 また、図書館の資料を利用しながら、グループでの学習・調査研究に使えるスペースとしてグループ学習室を無料開放しています。



総合文化センター外観(入口右：図書館)



くまがしホール(なつやすみとしょかんひろば)



どんぐり広場(マルシェ)

### 平群町総合スポーツセンター ～健康と様々なスポーツの拠点～

メイン・サブ アリーナ	プロ・アマチュア問わず、数多くのスポーツ大会やイベントの会場にもなっており、本格的なスポーツから日ごろの健康づくりまで幅広い用途で多くの方々に利用されています。	
トレーニング室	マシン等の定期的な入替えや機器使用に関する講習会を通じ、健康増進のため多くの方が利用されています。	



## 2-5 環境への負荷の少ないまちづくり

### ごみ減量対策 ～みなさんのご協力が不可欠です～

#### ■年間の可燃ごみ排出量は、なんと25mプール26杯分！（4,653トン）

排出される可燃ごみの約44%が「紙・布類」です。可燃ごみが増えると、ごみの焼却時にCO<sub>2</sub>が排出されたり、ごみの運搬にも多量のエネルギーを使い、地球温暖化等の環境問題につながります。

#### 紙ごみを削減するために…

- ・新聞雑誌や空き箱は、潰してから町内リサイクルステーションや集団回収へ
- ・きれいな状態の服・漫画・カバン等はリサイクルショップで買い取ってもらえる場合があります。

#### 町内3か所のリサイクルステーションをご活用ください！

ダンボール・新聞紙・雑誌等のリサイクルを推進。食器の回収もしています。

北部



（音の花温泉付近）

中央

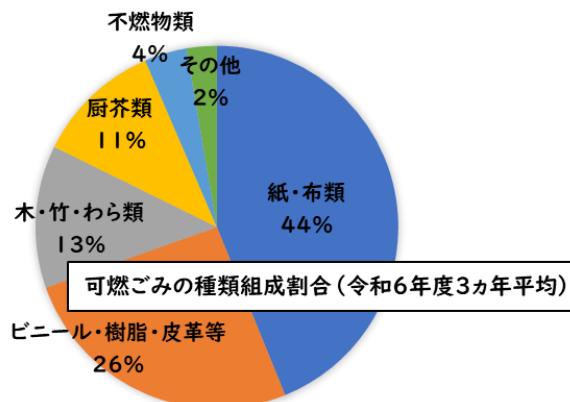


（役場東駐車場内）

南部



（椿井交差点北西）



#### ■プランターDEキエーロ親子で工作教室

家庭から出される生ごみを減らすため、生ごみ処理器「キエーロ」を推進しています。8月14日・15日には、夏休み企画として「親子deキエーロ」を開催しました。



#### 「キエーロ」って？

生ごみを土の中のバクテリアの力で分解して土に還すため、日光と水と土しが必要としない生ごみ処理器

#### 【使い方】

穴を掘り、生ごみと土を混ぜて（乾いている場合は少量の水を加えて）乾いた土で覆います。（夏場は5日、冬場は2週間ほどで生ごみは土に還ります。）



#### ■生駒市清掃センターへの可燃ごみ処理委託

本町の清掃センターは稼働開始から33年が経過し、これまでも施設機能の維持・延命化による施設運営に努めてきました。今後のごみ処理の方針について、近隣市町村の状況や、清掃センターの改良・建て替えを実施し本町清掃センターで焼却を継続した場合や処理委託した際の費用比較等を行い、検討してきました。

近隣の生駒市は、令和6年に清掃センターの整備工事が完了し、安定したごみ処理が可能となったことや、本町の年間焼却量の受け入れも可能であることから、生駒市と連携協定を締結しました。令和8年度から14年間、可燃ごみの持込みを開始します。

#### 平群町の指定ごみ袋を使用してください

令和8年4月から、生駒市へごみの焼却を委託しますが、可燃ごみの指定袋は全てのサイズで現行の平群町の指定袋を継続してお使いください。

なお、生駒市のルールにより、指定袋に入れていいごみの大きさは30cmまでのものです。1つのごみの大きさと縦・横・高さ、いずれか一边が30cmを超えるものは、指定袋に入れることができませんので、粗大ごみに出してください。





## 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

4億8,357万円 の黒字決算（令和6年度一般会計）

### 一般会計

1年間で町に入った  
お金（歳入）  
82億3,762万円

=

1年間で町が使った  
お金（歳出）  
77億3,316万円

=

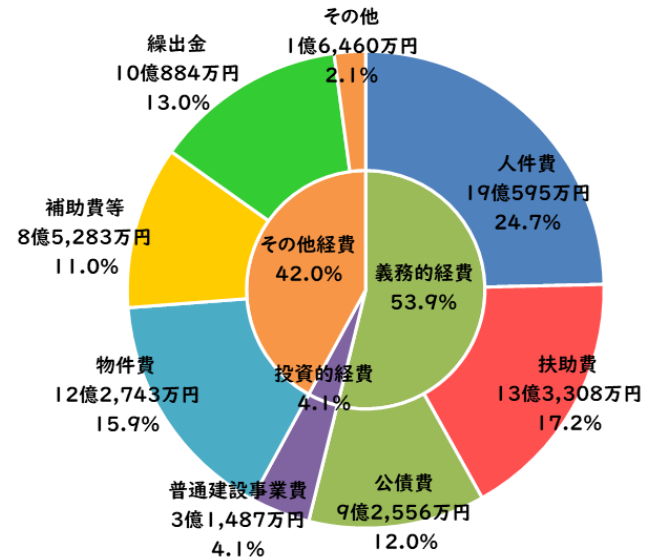
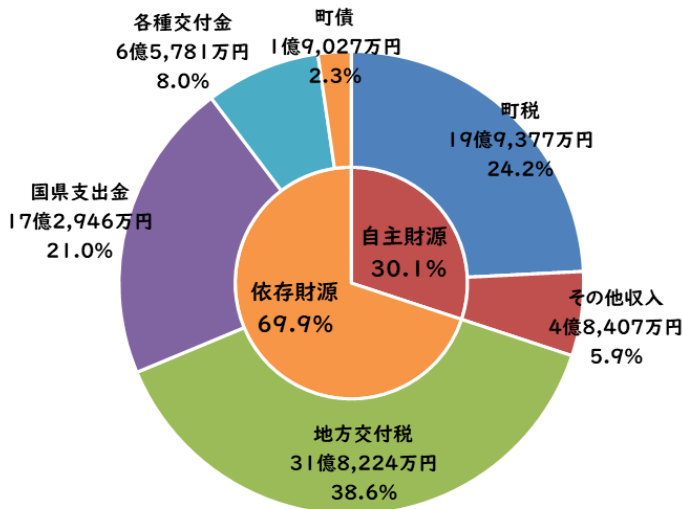
翌年度への繰越  
2,089万円

=

4.8億円の  
黒字

昨対比  
6,159万円増

昨対比  
1億1,846万円減



### 令和6年度主要事業

※ 決算の詳細は、町ホームページをご覧ください。



#### ○子育て支援の充実

子ども医療費無償化制度の充実	6,967万円
こども園・小中学校給食費無償化及び高騰対策	2,076万円
子育て世帯の移住・定住促進事業	926万円
吉新1号公園遊具等設置	158万円
私立幼稚園等町内在籍園児世帯生活支援給付	71万円



中学校吹奏楽部用楽器

#### ○防犯対策

不法投棄未然防止・通学通園路安全確保防犯カメラ設置	180万円
北・南小学校防犯カメラ設置	108万円
はなさとこども園防犯カメラ更新・非常通報装置設置	88万円
ゆめさとこども園非常通報装置設置	60万円



平群小学校遊具

#### ○学校教育現場の充実

学童保育運営費	4,463万円
平群小学校遊具設置	212万円
中学校吹奏楽部用楽器購入	149万円

#### ○その他の事業

道路・橋梁保全事業	1億1,271万円
コミュニティバス推進事業	2,742万円

## 2-6 持続可能な行政運営に向けたまちづくり

### 緊急財政健全化計画の取り組みによる財政指標の変動

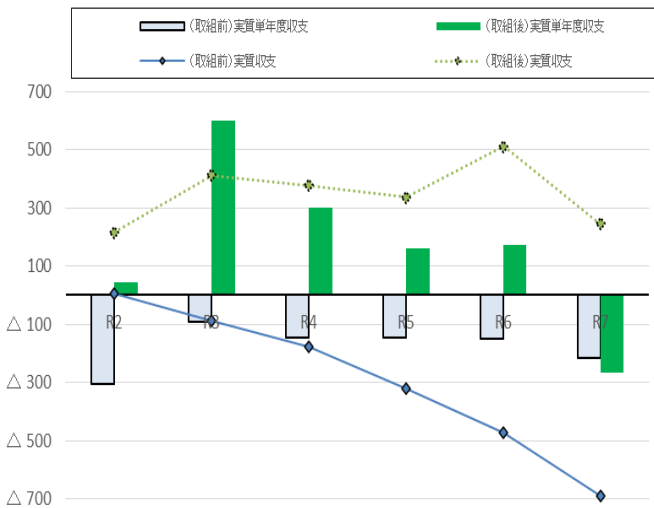
財政指標（自治体の財政状況を測る数値）	R2	R3	R4	R5	R6
経常収支比率 R7決算目標値94%以下 （収入で支出を賄えているかを表す数値）	95.7	89.9	90.5	88.4	88.2
実質公債費比率 R7決算目標値15%以下 （返済額の負担度合を表す数値）	16.7	16.0	14.4	12.7	11.5
将来負担比率 R7決算目標値140%以下 （負債の規模を表す数値）	222.8	183.3	156.7	140.7	117.5

### 県と連携した財政健全化に向けた取り組み

奈良県から発令されている「重症警報(令和7年度発令中)」に対応し、令和3年に「緊急財政健全化計画」を策定し、財政健全化に向けた各種取り組みを実施した結果、取り組み前より財政状況は改善されていますが、全国や県内の水準と比べるとまだまだ健全な財政状況とは言えません。

計画の最終年度となる令和7年度も引き続き、将来の財政運営も見据えたうえで、奈良県と連携しながら、財政健全化に向けた取り組みを実施しています。

#### 財政シミュレーション



#### ◆財政健全化取組前後想定収支予想 単位：百万円

取組前	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実質収支	7	△86	△176	△322	△471	△688
実質単年度収支	△306	△93	△146	△146	△149	△217

#### 財政健全化への取り組みにより改善

取組後	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実質収支	215	412	377	336	510	245
実質単年度収支	46	598	302	160	174	△265

#### ◆実質収支

収入と支出との実質的な差額をみる数値で、収支から翌年度への継続費や繰越費等の財源を差し引いた額。

#### ◆実質単年度収支

単年度収支から、実質的な黒字要素（財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額）を加え、赤字要素（財政調整基金の取崩し額）を差し引いた額。

### まだまだ厳しい財政状況

今後の見通しでは、歳入予算の約3分の2を占める町税と国からの普通交付税が、人口減少等に伴い、減っていくことが見込まれます。

一方で、老朽化施設の改修工事（普通建設事業費）、借金の返済（公債費）、高齢化社会に伴う福祉に係る扶助費などの歳出予算が大幅に増加し、更に厳しい財政状況になると予想されます。

#### 収入の減少

#### 支出の増加

財政状況の悪化  
（公債費（借金の返済の増加、財政調整基金（貯金）の減少など）

編集・発行

奈良県 平群町

TEL 0745-45-1001 FAX 0745-45-6619  
URL <https://www.town.heguri.nara.jp>  
メール [info@town.heguri.nara.jp](mailto:info@town.heguri.nara.jp)

ご意見をお持ちの方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。  
お寄せいただいたご意見に対して個別に回答はしませんが、今後の行政運営の参考とさせていただきます。